

会議名	長浜市指定管理者選定委員会第2委員会 (令和5年度第2回会議)
日時	令和5年9月1日 13:00~17:00
審査対象	長浜市河毛駅コミュニティハウス関連施設

審査結果概要

- (i) 施設所管課（都市計画課）からの募集経過説明
- (ii) 申請団体（株式会社まちづくり河毛）による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答
- (iv) 採点、集計

1,000点満点中：755点（100点満点中：75.50点）

- (v) 審査

指定管理者候補として適当と判断する者

所在地 長浜市湖北町速水2914

名称 株式会社まちづくり湖北

代表者 片岡 健策

選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

委員 : ヘルメット、雨具、防寒具の無料貸出しはしているのか。

申請者 : 既に実施している。レンタサイクルは鉄道施設の活性化策として駅から各観光施設へのアクセス手段として取り組んでおり、ヘルメット、雨具、防寒具の無料貸出しをしている。

委員 : 人材育成と職員研修について、インバウンドの研修は非常に重要だと受け止めている。人材育成としては、今後の世代交代へどのように準備しているか。

申請者 : 河毛駅に勤務している職員は、奥琵琶湖ボランティアガイドに所属しているので、小谷城や長浜の観光案内ができる知識の習得や、外国人旅行者へのサービス研修等も受講するなどの人材育成を行っている。ご指摘のとおり、職員はみな70歳以上なので、円滑に世代交代できるよう準備していきたい。

委員 : 決算書について、損益計算書に売上原価の当期製品製造原価649万が計上されているが、製造業の仕入れがあるのか。

申請者 : 給与賃金、修繕費等を計上している。

委員 : 前受金135万円が2期連続で経常されているが、内容は何か。

- 申請者 : 指定管理料を年度当初に受け取った分のうち、未経過分を前受金に計上している。
- 委員 : 収支計画書について、令和8年度以降、人件費が指定管理料を上回っているが、どのような見込みをしているのか。
- 申請者 : 人件費は現在最低賃金で運営しているが、令和6年度から時給1,000円にして、その後は毎年5%賃上げすると計画で見込んでいる。指定管理料については毎年定額と認識しており、追加で要求するものではない。
- 委員 : 事務の職員を増やすという計画か。
- 申請者 : トイレと駐車場の清掃に1日2時間ほどかかる。1人体制だと事務所に誰もいない時間帯ができてしまうので、その間別に職員に来てもらい、常に事務所に職員がいる配置を想定している。

審査

- 委員 : 地域の観光資源を取り入れて自主事業を考えている点はよいと感じた。人材育成や防犯面で少し不安を覚えたが、頑張っていたきたい。
- 委員 : 地域に歴史的な名所などがたくさんあって、魅力的な駅になっていると思う。事務室がオープンなので、個人情報の管理や防犯面で危ういと感じた。
- 委員 : 地域の方々やボランティアの方々とのつながりを持っておられる指定管理者であるが、人材の面で不安を感じる。人のつながりの中で後継者を見つけるなど、しっかりと組織を維持できるよう取り組んでほしい。
- 委員 : 防犯面などにやや不安があるが、観光客に向けた取組をしようとする姿勢や熱意は評価できる。職員の皆さん70歳以上ということなので、指定管理期間5年間のうちに世代交代に向けて取り組んでほしい。
- 委員 : 市への報告は定期的にあるのか。過去に報告が遅れたりしたことはあるのか。
- 所管課 : 月に1回、半年に1回、年度末に1回報告がある。報告の遅れは特にはない。
- 委員 : 職員体制などの面で少し不安があるが、これまでの実績もあり、施設の運営は問題ないと思われる。市の担当課としっかり連携して運営いただきたい。
- 事務局 : ご意見を担当課でしっかり受け止めて、駅関連施設は指定管理者制度が最適なのかどうなのかということを含めて今後の検討課題としたい。
- 委員長 : 株式会社まちづくり湖北を指定管理者候補と判断してよろしいか。
- 全委員 : 異議なし。